

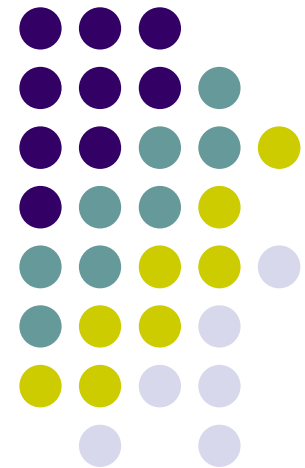
# 2020年3月期決算説明資料

---

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード): 3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 免責事項 ……11

# 会社概要



- 社 名：大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地：神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者：大村日出雄
- 設 立：1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金：554,000千円
- 発行済株式総数：4,884千株
- 事 業 内 容：段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部：湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所：会津・レーベル湘南
- 研 究 所：包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、好調な企業業績のもと、雇用情勢や所得環境が改善されるなかで、穏やかな回復基調のうちに推移しました。しかしながら、消費税の引き上げ、自然災害の発生さらには新型コロナウイルス感染拡大の影響により年度終盤には景気の急減速が見られました。
- この様な経済環境の中、当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比99.6%となりました。一方、当社の主原料であります原紙は2年連続の大幅な値上げがあり、これを受けて製品価格の改定に取り組んでまいりました結果ある程度の成果を得たことと当事業年度の設備投資を削減・延期したことにより下記のようになりました。
- 段ボールシート54百万㎡(前期比7.1%減)、段ボールケース33百万㎡(前期比11.7%減)となりました。売上高は5,262百万円(前期比0.9%増)となりました。利益面におきましては、経常利益321百万円(前期比57.8%増)となり、当期純利益153百万円(前期比26.4%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



# 業績概要①

売上高の品種別の内訳は次のとおりであります。

|         |             |
|---------|-------------|
| 段ボールシート | (前期比13.2%増) |
| 段ボールケース | (前期比4.1%減)  |
| ラベル     | (前期比2.5%減)  |
| その他     | (前期比9.2%増)  |

(単位:百万円)

|               | 当期<br>(2020年3月期) | 前期<br>(2019年3月期) | 前期比率  |
|---------------|------------------|------------------|-------|
| 売上高           | 5,262            | 5,215            | 0.9%  |
| 営業利益          | 312              | 201              | 54.9% |
| 経常利益          | 321              | 203              | 57.8% |
| 当期純利益         | 153              | 121              | 26.4% |
| 1株当たり当期純利益(円) | 31.96            | 25.28            |       |



## 業績概要②

総資産につきましては、前事業年度末に比べて、117百万円増加しまして、7,598百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が増加し、有形固定資産及び投資有価証券が減少したことによるものであります。

(単位:千円)

| 資産の部     | 当期末<br>(2020年3月末) | 前期末<br>(2019年3月末) |
|----------|-------------------|-------------------|
| 流動資産     | 5,238,321         | 4,870,346         |
| 現金及び預金   | 3,657,244         | 3,262,076         |
| 受取手形     | 501,215           | 501,568           |
| 売掛金      | 711,315           | 720,903           |
| たな卸資産    | 358,473           | 375,738           |
| その他流動資産  | 10,072            | 10,059            |
| 固定資産     | 2,359,853         | 2,610,725         |
| 有形固定資産   | 2,098,396         | 2,240,207         |
| 無形固定資産   | 11,849            | 10,583            |
| 投資その他の資産 | 249,608           | 359,933           |
| 資産合計     | 7,598,175         | 7,481,072         |

(単位:千円)

| 負債・純資産の部  | 当期末<br>(2020年3月末) | 前期末<br>(2019年3月末) |
|-----------|-------------------|-------------------|
| 流動負債      | 1,680,648         | 1,626,926         |
| 支払手形      | 1,048,579         | 1,095,463         |
| 買掛金       | 209,897           | 218,838           |
| 未払法人税等    | 94,055            | 40,009            |
| その他の流動負債  | 328,116           | 272,616           |
| 固定負債      | 589,156           | 621,380           |
| 退職給付引当金   | 140,782           | 147,604           |
| 役員退職慰労引当金 | 431,474           | 421,694           |
| その他       | 16,900            | 52,081            |
| 負債合計      | 2,269,805         | 2,248,307         |
| 純資産合計     | 5,328,369         | 5,232,764         |
| 負債・純資産合計  | 7,598,175         | 7,481,072         |



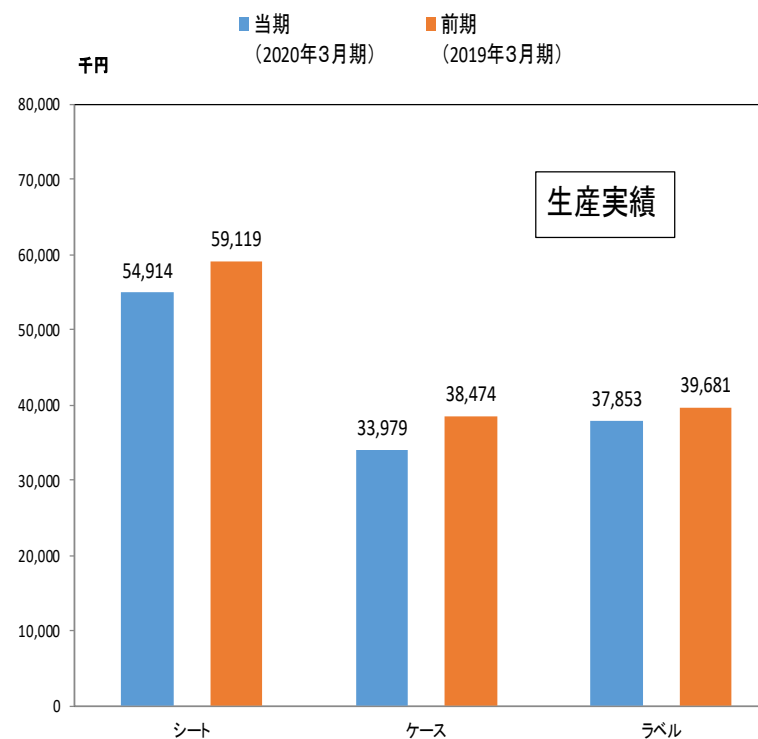
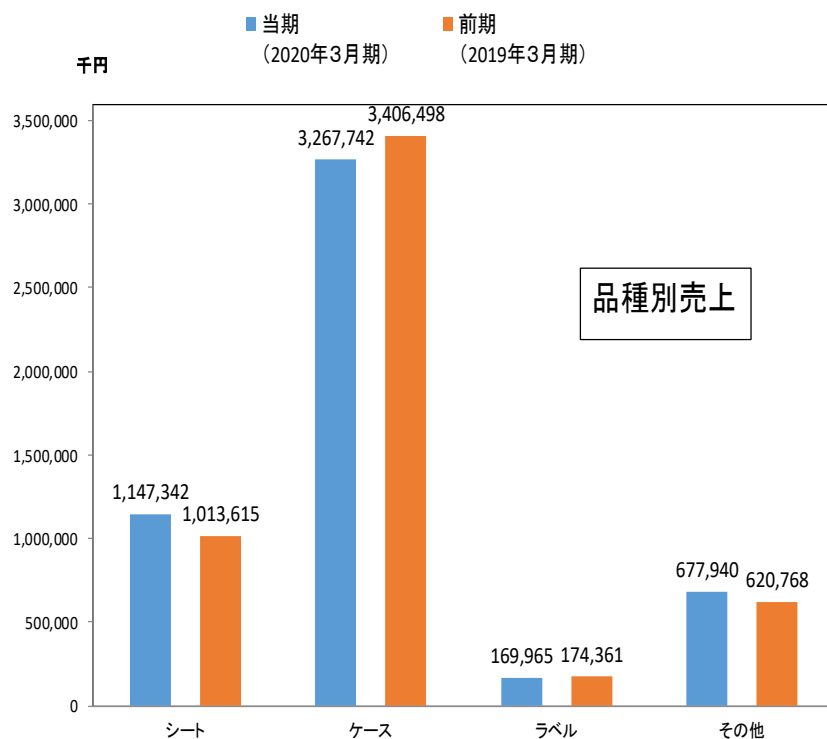
## 業績概要③

(単位:千円)

|                      | 当期<br>(2020年3月期) | 前期<br>(2019年3月期) |
|----------------------|------------------|------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 467,231          | 344,794          |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | 29,077           | ▲ 356,263        |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | ▲ 101,160        | ▲ 100,462        |
| 増減額(減少:▲)            | 395,147          | ▲ 111,930        |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高   | 3,029,872        | 3,141,803        |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高   | 3,425,020        | 3,029,872        |



# 品種別売上高及び生産実績







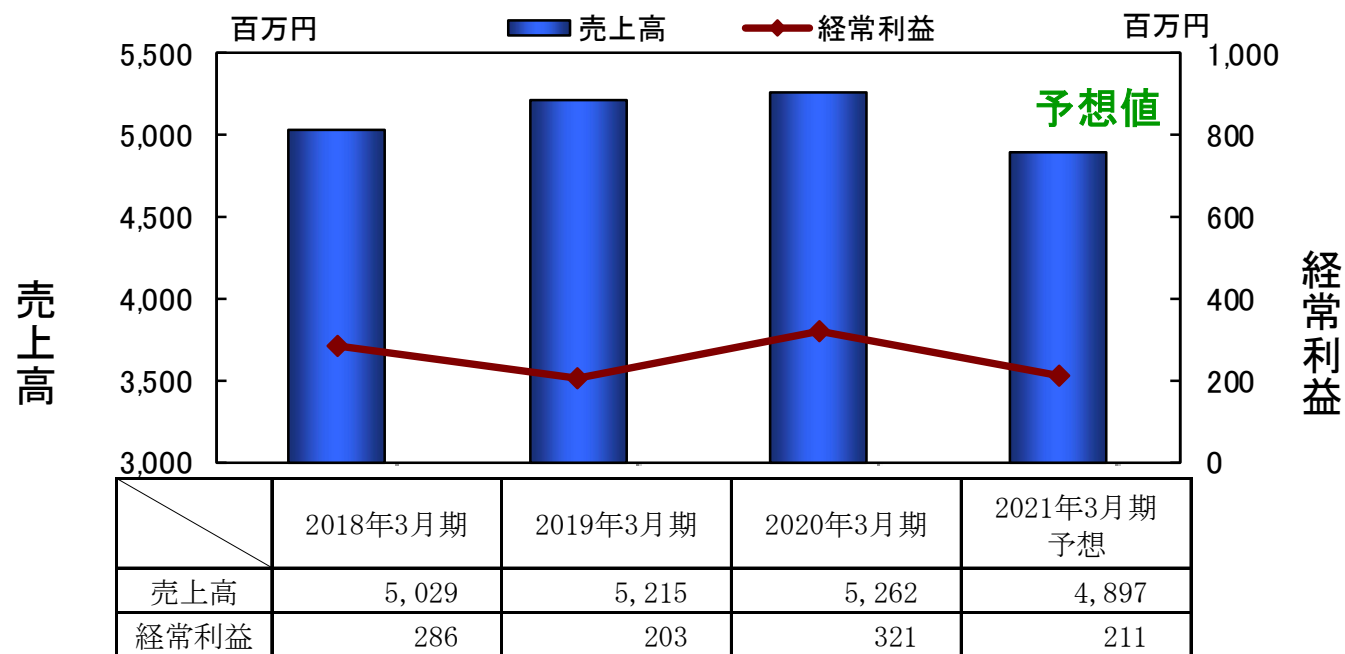
# 今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、年明け以降、世界各地で新型コロナウイルスの感染が見られるなか、外出制限や感染拡大防止策がとられました。その結果、各国の経済活動が大幅に制限され、世界経済の急激な縮小、金融市場の混乱、原油相場の大幅な下落等が発生している現状です。日本も政府や自治体から緊急事態宣言が発令され、人の外出自粛や業種によっては休業要請等日本経済に大きな打撃が出ている状況です。この先徐々に終息には向かうとは思いますが日本経済が立ち直るのには相当時間がかかることも予想されるところと思われます。
- 当社の2021年3月期の通期業績予想につきましては、売上高4,897百万円(前期比7.0%減)、営業利益214百万円(同31.2%減)、経常利益211百万円(同34.0%減)及び当期純利益127百万円(同17.3%減)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



# 売上高および経常利益の見通し

※売上高4,897百万円(前期比7.0%減)、営業利益214百万円(同31.2%減)、経常利益211百万円(同34.0%減)及び当期純利益127百万円(同17.3%減)を計画しております。





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。